

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ウエストジャパン看護専門学校
設置者名	医療法人茜会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	66	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

一覧表を作成し、本校教務室にて保管、申出により開示を行う。（「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」）様式の変更を行い、実務経験のある教員による授業科目については記載を行い、シラバスは開始年度初めに学生に配布している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	ウエストジャパン看護専門学校
設置者名	医療法人茜会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえ、評価を行い、その結果を学校長に報告を行う。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
地域住民	2年	地域住民
病院事務部長	2年	医療関係者
社会福祉法人理事	2年	医療関係者
看護師	2年	卒業生
看護師	2年	卒業生
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ウエストジャパン看護専門学校
設置者名	医療法人茜会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>講義開始年度の前年度中に講師の決定を行い、各担当講師が作成様式に則り、授業概要、授業目標、学習形態、内容、評価方法・評価基準等を記載し、作成を行う。授業の内容に関しては、国家試験出題基準や臨地実習で必要とされる知識・技術も考慮する。</p> <p>開始年度の前年度中に作成をまとめ、開始年度初めに学生に配布し公表を行う。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>年度ごとにシラバスをファイル化し、本校教務室内にて保管。申出により開示を行う。〔令和〇年度シラバス〕</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位取得の認定は、平常の試験、レポート、演習、臨地実習、出席日数等により当該科目の担当講師が行い、運営会議にて単位認定を行う。</p> <p>出席時間数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。</p> <p>授業科目の評価は100点満点で行い、優(80点以上)、良(70点から79点)、可(60点から69点)及び不可(60点未満)とし、可以上を合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修した成績評価は100点満点で実施している。その全科目の合計点数の平均点を算出し、成績の分布状況の客観的評価を行う。平均点においては小数点第3位を四捨五入し、算出する。</p> <p>入学時に既に他大学等にて履修済みであり、本校で「認定」とされた科目においては上記の評価から除外する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。 (「成績評価及び分布状況」)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学校の定める授業科目、単位数(時間数)を修得した者。 ・授業科目(学科目、臨地実習)各々の単位の認定された者。 ・修業年限3年、または在学年限内(休学期間を除き6年)の者。 ・学校が定めた各学年の出席すべき日数の3分の2以上を出席した者。 <p>以上の要件を全て満たし、学校運営会議の議を経て、卒業の認定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間に興味を持ち続けられる。 ・社会の動き、文化や自然に関心を持ち、こころ豊かな自分を育てられる。 ・常に疑問を持ち、追求し、柔軟に対応できる姿勢がもてる。 ・チームの一員として自律した行動がとれる。 ・倫理に基づいた行動がとれる。 <p>以上の人材の育成を目指している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。 (「卒業の認定に関する方針」)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ウエストジャパン看護専門学校
設置者名	医療法人茜会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。
収支計算書又は損益計算書	学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。
財産目録	学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。
事業報告書	学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。
監事による監査報告（書）	学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年		105 単位	82 単位		23 単位		
		単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		122 人	0 人	15 人	73 人	88 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義開始年度の前年度中に講師の決定と年間の授業計画作成を行う。各担当講師が作成様式に則り、シラバスの作成を行う（授業概要、授業目標、学習形態、内容、評価方法・評価基準等を記載）。授業の内容に関しては、国家試験出題基準や臨地実習で必要とされる知識・技術も考慮する。</p> <p>シラバスは開始年度の前年度中に作成をまとめ、開始年度初めに学生に配布し公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績に関して、単位取得の認定は、平常の試験、レポート、演習、臨地実習、出席日数等により当該科目の担当講師が行い、運営会議にて単位の認定を行う。</p> <p>出席時間数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。</p> <p>授業科目の評価は100点満点で行い、優（80点以上）、良（70点から79点）、可（60点から69点）及び不可（60点未満）とし、可以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業においては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学校の定める授業科目、単位数（時間数）を修得した者。 ・授業科目（学科目、臨地実習）各々の単位の認定された者。 ・修業年限3年、または在学年限内（休学期間を除き6年）の者。 ・学校が定めた各学年の出席すべき日数の3分の2以上を出席した者。 <p>以上の要件をすべて満たし、学校運営会議の議を経て、卒業の認定を行う。</p> <p>進級においては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が定めた各学年の出席すべき日数の3分の2以上を出席した者。 ・2学年から3学年への進級においては、2学年の学年末までに定められたすべての授業科目を修得した者。 <p>以上の要件をすべて満たし、学校運営会議の議を経て、進級の認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担当教員が、担当する学生の学習、履修、成績、授業の出席状況に応じて必要な指導を定期的に行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	36人 (97%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) 医療機関			
(就職指導内容) 個別面談・個別相談の実施、就職対策講座の開講			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
124人	4人	3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、自己都合等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別指導の適宜実施、三者面談による懇談の実施、スクールカウンセラーの設置		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	250,000 円	480,000 円	250,000 円	その他は実習費、施設設備費、教材費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
法人独自の奨学金制度の設置				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育関係者、医療関係者、卒業生、その他有識者を構成員として、学校自己評価の項目等 (看護師等養成所の学校相互評価実施要領を参考：教育理念・教育目標、教育目標、教育課程経営、教授・学習・評価過程、経営・管理過程、入学、卒業・就業・進学、地域社会/国際交流、研究) の評価を行い、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地域住民	2年	地域住民
病院事務部長	2年	医療関係者
社会福祉法人理事	2年	医療関係者
看護師	2年	卒業生
看護師	2年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.west-japan-kango.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H135310000371
学校名	ウエストジャパン看護専門学校
設置者名	医療法人茜会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		12人	11人	12人
内 訳	第Ⅰ区分	8人	8人	
	第Ⅱ区分	2人	3人	
	第Ⅲ区分	2人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				12人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	2人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	2人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。